



Royalナナちゃんの

赤裸々

カスタム吐息

Nana'S

Custom Harley Story

text/N.Chang 張娜娜 photo/H.Suzuki 鈴木飛雄
取材協力/セレクトッド品川店
TEL03-6712-1805
www.selected.co.jp

エンジン&車両全体を輝かせる
名脇役なメッキパーツ達。

今回のテーマであるコーティングパーツにちなんで、メッキを施したパーツを取り上げてみました。

編集ナナ(以下ナ)・・・多くのハーレー乗りの方が、メッキパーツを取り入れています。メッキのメリットはどのようなところですか？

鈴木さん(以下鈴)・・・メッキのいい所は、耐食性であるサビや汚れに強い。そして、パーツの素材が傷みにくいという点が一番ですね。それに伴い装飾性があり、SCMのコンセプトのひとつである、バイクは常にきれいな状態にする、という点でもメッキパーツは必ず装着します。もちろんメッキパーツだけだと、トーンが上がりすぎて軽薄な感じになるので、そういう場合はステン素材を合わせて表現しています。

もちろんゴージャス感を出すためでもありますが、他のパーツの色を引き立たせるためにも白っぽいメッキを入れる、いわゆる、脇役的な要素も踏まえているんですね。



Volume 03

COATING PARTS

アクセントとなる メッキの配色バランス。



セレクトッド品川店
店長 鈴木飛雄さん

北品川にあるセレクトッド品川店店長。自身でカスタムした愛馬ROYAL CROWNSは'11JOINTSと'11F.T.Wでトップアワードを獲得。時代を担うトップビルダーのひとりだ

ナ・・・ワタシはもともとコントラストカットのホイールに憧れていたんですね。打ち合わせのときにデッサンした全体的なデザインを見て、自分が描いていた理想に合うものはクromホイールだと確信しましたよ。
逆...デッサンをして、ビルダーとの意見交換をしなければこの統一感のある車両は生まれなかったと思うと、最初のイメージや打ち合わせはかなり大事なことだとつくづく思いました。さもなければこの車両にコントラストカットのホイールが、今、想像してみるとかなりおかしな車両になっていたのかもしれないですね。(笑)

鈴...よくあるパターンで、単体の魅力として魅かれるパーツはたくさんあります。でも、自分の想像するバイクに合うかどうかは別の問題かもしれませんね。

ナ...全体的な話をしていないと、まったく違うバイクになっちゃってたかもしれないです。もしそうなら、しまったら、またカスタムしちゃえばいいですかねえ。へへへ。

鈴... (苦笑)。



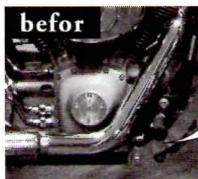
L

Cam Cover

カムカバー

ゴツイエンジンはぼかしちゃえ。

シリンダーのリンクルシルバーを残しつつ、側面から見た時に目立つカムカバーをメッキにすることで、エンジンをロッカーボックスとカムカバーのメッキで挟み込む。それにより、エンジンを白っぽいイメージに。ポイントカバーはアクセントよ



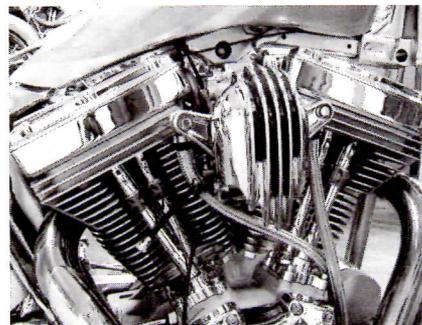
K

Locker Box

ロッカーボックス

顔に日が当たって美白!?
レフ代わりにもなるのよ。

ロッカーボックスは、エンジンパーツの中でも見ごたえがある象徴的な部分。ツインカムの純正はゴテッとしたイメージが強いので、スタイリッシュでスマートに見せたかったの。だから、このパーツの中でも最もスマートなS&Sのツインカム対応を選び、取り付けたわ〜け〜



N

Front

フロントまわり

統一感のあるエレガントな見た目。

フレームのパウダーコートとの相性は大事。エンジンがリンクルシルバーなので、トーンをもっとアップするため、他のパーツのグリランゴールドに馴染むようにクロムメッキですべて白いイメージに



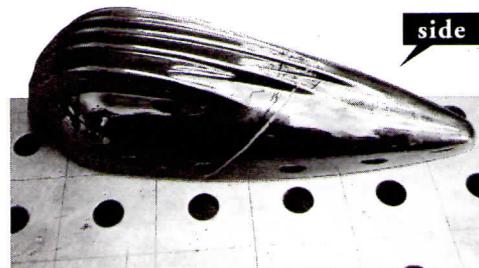
M

Air Cleaner

エアクリナー

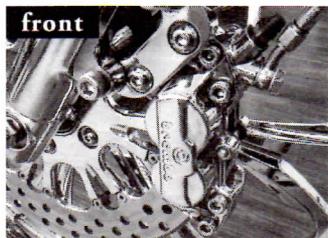
Vツインをめいいっぱい見せたい。

スピードラインのエアクリを加工。吸気に対して unnecessary 部分はすべてそぎ落として、ロイヤルセブンに合うようデザインしたよ。エアクリはカムカバー同様、重要パーツのひとつなので同じくクロムメッキをかけたの



Caliper P キャリパー

キャリパーのメッキ化はアメリカで主流!?



フロントには、米国製QTMからリリースされているクロムメッキのキャリパーを採用。マスターのセミラジアルとの相性は鈴木さんの愛車ロイヤルクラウンで実証済みよ



リアに関しては、ブーリーとブレーキが一体となっているBM製ドリブンブーリーを採用。20ミリ幅以上のブーリーを挟む場合、よりキャリパーの剛性が必要になるみたい

Light O 灯火類

後ろ45度からの見た目、ナイスよ。



ヘッドライトは、トリプルツリーからの吊り下げタイプのマウントになっているので、正面から見ると宙に浮いているように見えている。目立つパーツの一部なので、外装塗装を少し加えてマッチングラ〜



テールライトも同様にメッキに。小さいモノだけど、細かいところまで同調をとることで統一感が生まれる

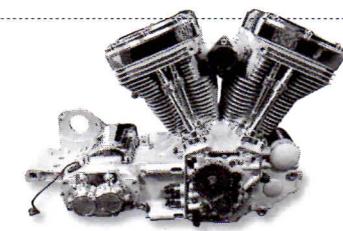


ウインカーは、フレーム色に合わせるのがSCM流。だけど、今回はひとつのパーツとして考慮しメッキに

R Mission ミッション

さりげないメッキ化
腰下部分も意外と重要。

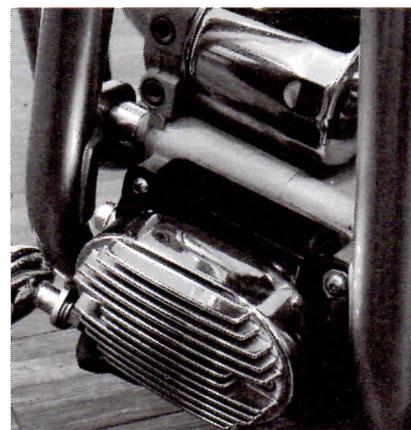
純正はポリッシュで、ブライツが横切り視覚効果にもなる部分。ブレンボの油圧に変更したことで、反射が多くなった事もミッションをメッキ化した理由かな。エンジンの色が決まった後で、ここの色を変えると収まりがイイよね



Q Regulator レギュレーター

少しは純正感も
残したいよね。

ブラックの純正レギュレーターは、あえて純正位置のままパーツ自体をメッキに変えることで、カラーの統一感を大事にすることをテーマにしたの。移設する人も多いけど、カラーを変えるだけでもバランスが取れるよ



ギンキラギンにさりげなく〜
さりげなく〜メッキが輝くよ〜